

# 大阪城

2022  
6/27  
(月)  
14272  
号

全港湾  
西成分会

2247  
6647-  
4947

梅雨の中、30度以上の熱い日が続きます。  
水をよく飲み、熱中症に気をつけたいもの  
です。身体も熱い空気になじませ、ならせなが  
ら進んでこの夏ものリニエたいものです。

経済社会では物価が全にわたリ上リつづけしま  
す。今年後半は、ずつと物価高インフリの波と嵐  
がおそつてきています。全世界的にとつとあつて  
第3次世界大戦がはつこつするといふ人が出てきて  
います。仏のエマニエという学者やローマ教皇など  
も、スエズにきています。ウクライナ戦争で世界が  
土壇から大きく変わりつつあるのは現実です。

アメリカの足下の中南米では、左派政権が多く  
生れ、アメリカが中南米会議を呼びかけてモトツプ  
はほとんど参加しません。アメリカとの貿易よりも  
中国との貿易の方が金額も多くなつています。  
アフリカも、アメリカ支持は多くはありません。

日本人の多くは常にアメリカが強く、アメリカが勝つて  
思つて、全この政治や社会システムは動いていますが、  
G7(G7+インド)の世界、横綱不在の世界になつて  
います。アメリカとシウ太陽が輝かなくなる現象が  
起きてつづくと、ついで、日本では、そこのに向けた政治  
が全く欠落して、コトバが空虚で空虚です。

# 参院選 論戦 物価高・安保・岸田政権評価

7月10日投開票、期日前投票は区役所でできます。

選挙戦本格化、あと2週間

ロシアのウクライナ侵攻による戦争が世界の体制や秩序を大きくゆるがし、戦闘局面も出口がみえなく膠着化するよう、エネルギー・食糧をはじめ基礎的資源の停滞が世界的な経済危機を誘因していく兆しがつよまっています。

欧米のロシアへの「全面的経済制裁」と「ウクライナへの大盤振る舞いの武器供与」を推し進めているが、これに同調しているのは世界的にみると少数派で、BRICSをはじめ発展途上国の多くは否定的な立場にたっている。

ロシアにしるアメリカにしても世界の超大国として覇権をほしいままにしてきたが、今や自己崩壊の過程にはいつているようです。

## 日本国民の歴史的な選択です

今回の選挙。先後77年の「戦後民主主義」と平和が生き延びるかどうかの選択のようです。